

第36回九州障がい者水泳選手権大会

2次要項

1 競技規則と競技方法

- (1) 本大会は、世界パラ水泳連盟（WPS）競技規則、（一社）日本パラ水泳連盟（JPSF）競技運営指針 競技規則および、（公財）日本水泳連盟 競泳競技規則に基づき行われる。

なお、知的リレーは男女比の制限は設けず、チャレンジレースは、介助者による同伴入水、浮具の使用、プールの底を蹴る、歩く、スタートの規則も努力義務とし、ゴールにたどり着けば完泳とする。



当該年度の JPSF 競技規則はこちらから確認ください→

- (2) 競技方法は、全てタイムレース決勝とする。複数のクラスが同時に行われた記録の処理はクラス毎とする。
- (3) 本大会では、水着、広告規制、装飾品など招集所でチェックするので、その旨心得ること。
- ・競技エリア内で着用するユニフォーム等の表示は、介助者、スタッフを含め次のもの以外は認められない。
 - ・テーピングやサポーターも禁止されている。絆創膏などもテーピングとみなされる。ただし傷を保護するために行う場合は、審判長の指定した役員の確認、審判長の許可が必要となり、「テーピング等申請用紙」を提出すること。
 - ・障害上、医療用具(ストーマ、カテーテル等)を装着して泳ぐ場合は、テーピングと同じく「テーピング等申請用紙」を提出し、審判長の指定した役員の確認、審判長の許可が必要である。
 - ・「テーピング等申請用紙」は選手受付に備えている。該当レースの1時間前までに「テーピング等申請用紙」をリゾリューションデスク(更衣室手前、第1招集所付近)に提出し、許可を得ること。
- (4) 水着の取り扱いについては、世界水泳連盟公認の水着を着用すること。障害上など着用の問題がある場合は申し出ることで例外的に認めることがある。該当レースの1時間前までに「規定外の水着使用申請書」をリゾリューションデスクに提出し、判断を仰ぐこと。また、記録の公認については、内容によってその都度判断をする。
- (5) 計時は、半自動計時装置を使用し、バックアップは手動計時（ストップウォッチ）を使用する。
視覚障害のクラスを含む全選手の記録の読み上げは行わない。速報掲示板で確認すること。
- (6) 失格による抗議は、公式結果公表後 30 分以内に所定の様式(抗議用紙)必要事項を記入の上、抗議料 10,000 円(現金のみ)を添えて、リゾリューションデスクに提出すること。(失格の理由を聞くことは抗議ではない)抗議が認められた場合、抗議料は返金される。抗議が却下された場合、抗議料は主催者（九州障がい者水泳連盟）の所有となる。
- (7) 本大会では上訴審判団を設置しないが、抗議の判定による上訴が可能であり、判定後 30 分以内に所定の様式（上訴用紙）に上訴料 15,000 円(現金のみ)を添えて、リゾリューションデスクに提出すること。大会総務により上訴が却下された場合、上訴料は主催者の所有となる。上訴が認められた場合、抗議料と上訴料は返金される。

2 スタートについて

スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォルススタートをした場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。スタート合図は、英語（「Take your marks」）で行う。

※スタートの方法

- ・審判長の短い笛の合図で準備し、長い笛の合図でスタート台に上がり、「Take your marks」の合図を待つ。背泳ぎ以外で水中スタートをする場合は、短い笛の合図で、直ちに自レーンもしくは近い方のプールサイドから入水し、自レーン内に移動する。飛び込みスタートの時は「Take your marks」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて、号砲を待っても構わない。ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合は、短い笛と長い笛の間が空くため、飛び込みスタートの選手はリラックスして待つこと。

(競技の進行上、水中スタートをする選手でプールサイドから入水する選手は、自分の選手紹介が終わり次第、プールサイドに移動し、入水の準備をすること)

- ・聴覚障がいのある選手のスタート合図は、審判長の長いホイッスルで選手にスタート台に上がるようにジェスチャーする。この時出発合図員は、ピストルを12時方向に肘を伸ばしきった状態で、ピストルを3時または9時方向におろしながら「Take your marks」と号令し、ピストルの合図（ピストル先端のフラッシュ）をする。
- ・本大会は、バックプレートおよびバックストロークレッジを使用しない。
- ・スタート台の高さに対し、水深が浅くなっているため不慣れな選手は台横もしくは水中からのスタートとしてください。

3 ゴールと退水について

- (1) ゴールタッチは壁に確実にタッチすること。
- (2) ゴール後は退水合図(短い2回のホイッスル)後、横から退水すること。

＝退水方法について＝

全選手、1レーン側のスロープより退水することを原則とする。

下肢障害等でスロープから退水が困難な方は、2～4レーンの選手は1レーン側スロープがない、12.5m付近から、5～6レーンの選手は7レーン側プールサイドより退水すること。

介助者がいない車いすや義足等を使用する選手は、どちら側から退水するか、第2招集所で係員に伝えてください。

4 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。

5 招集

- (1) 招集は、1階ロビー（更衣室手前）で行う。公表されたプログラム開始時間は目安とし、競技の進行を基準に、25m種目・50m種目は5レース前までに、100m以上の種目は3レース前までに招集所に行き、点呼を受けなければならない。招集に遅れた者は棄権とみなすので、各自競技の進行状況に注意すること。
なお、第1日目の競技については別途案内する。
- (2) 当日競技を棄権することになった場合は、**第1日目は14:00までに、第2日目は9:15までに**「棄権届出用紙」をリゾリューションデスクに提出すること。また、急遽棄権する事由が発生した場合は、速やかにリゾリューションデスクに提出すること。なお、個人登録選手で会場に来れない場合は、大会事務局(taikai@kyusuyuparaswim.com)まで連絡をいれること。
- (3) 各選手は、自レーンで脱いだ衣類等をすべて設置してあるカゴに入れること。その際、義足等の退水時に必要となるものはカゴに入れないこと。

6 競技エリア内入場許可

- (1) スタートリストにコードオブエクセプション(以下「CoE」という。)
「T」、「A」、「Y」の記載のある選手は、必要な介助のために介助者が競技エリア内に入場できる。これらのCoEを持たない選手においては、介助者が競技エリア内に入場するためには、第1日目は14:00までに、第2日目の午前の競技は9:00までに、午後の競技は**12:30**までに「競技エリア内入場許可申請書」(選手受付で配布)をリゾリューションデスクに提出し、認められなければならない。なお、今大会では競技役員による介助は行わないので、介助者、タッパーは選手側が準備すること。また、S/SB/SM14、15クラスは、本大会のみ障がいがあるが故の配慮が必要な場合はその理由を申請理由として許可する場合がある。ただし、「T」、「A」、「Y」の介助者同様に、広告規制や目的以外の行為(コーティングや記録計測、撮影など)は許されない。

- (2) (1)については、一次要項で記載した通り、申込時に事前申請を行い許可がおりたも者は、CoEに「介助」「同

伴」と記載している。(当日の申請、ビブス着用は不要です)

- (3) 介助者がいない選手の義足や杖、車いすなどは競技役員で移動する。

7 競技時間

競技時間は、あらかじめ競技順序に記載された時刻で行う。ただし、競技が早まったり、遅れることがあるので、進行状況に注意すること。

8 プログラム訂正について

事前に、スタートリストの確認時期を設けているため、その締切に合わせてあらかじめ届け出ること。それを過ぎた場合は、会場にて「プログラム訂正用紙」に記入し、第1日目に関するものは、14:00までに、第2日目は9:00までにリゾリューションデスクへ提出すること。なお、エントリーと異なる参加種目の変更や追加は原則認めない。「プログラム訂正用紙」は選手受付に備え付けている。※訂正作業に時間を要しますので、可能な限り、第1日目の受付で確認し、「プログラム訂正用紙」を提出の上、競技を迎えられるようにご協力をお願いします。

9 抗議について(クラス分けに関する抗議は別の定めに従うこと)

- (1) 競技開始前に判明した事項は、出発合図の前に文書で審判長に提出しなければならない。
- (2) 競技終了後の抗議は、本要項「1 競技規則と競技方法」(6)、(7)に記載のとおりとする。
- (3) 抗議用紙、上訴用紙は、リゾリューションデスクに備え付けている。
なお、第1日目のリゾリューションデスクは受付と併設する。
- (4) 公式掲示は、速報板に掲出された時刻をもって公式掲示とする。

10 表彰について

- (1) 各個人種目の優勝者に金メダルが授与される。公式掲示板に公表された着順を確認し、優勝者は自らメダル受取所(受付付近)で受け取ること。
各リレー種目の優勝チームには、表彰状を受け取ること。
- (2) 記録証発行の事前申し込みのある完泳者に対し、記録証を発行する。
全ての競技(個人種目)を終えたら、ADカードを持って受付に来ること。競技終了後は混雑が予想されるので、チームでまとまらず、個人個人で来るようにご協力をお願いします。
受取がなかった場合は、原則発行はしないこととする。
- (3) オープン参加(チャレンジレース)の選手は、表彰の対象としない。
- (4) 表彰式は、行わない。(1)記載の通り、各自で受け取ること。

11 速報の掲示及び記録証の配布

- (1) 速報は、1階受付付近および3階小アリーナ入口に掲示する。
- (2) 記録証は、事前申し込みに対して1人1枚に出場した種目すべての記録を記載した上で配布する。
配布方法は、10(2)を参照。

12 リレーオーダー等について

- (1) 各チームの責任者は、申込時のリレーオーダーに変更が生じた場合は、メドレーリレーは6/8(日) 9:00まで。フリーリレーは6/8(日) 13:10までに「リレーオーダー変更用紙」をリゾリューションデスクに提出すること(ポイント記載や選手の重複出場など間違いのないようにすること。)
- (2) リレーにおける第一泳者の記録は計測しない。
- (3) リレーに参加できる選手は、同じ所属で本大会の個人種目に申込しているものとし、オープン参加(チャレンジレース)出場者は出場できないものとする。
- (4) クラス分けを受検(再受験)した結果、申込時のクラスポイントに対して、ポイントオーバーとなった場合は、以下の通り取り扱う。
 - ①クラスポイント範囲内の別のメンバーで構成し、出場する。
 - ②申込時のクラスポイントが28pの場合は、その対象選手を必ず含み、38pにクラスを変更し出場する

ことができる。(本人以外の3選手が他選手に変更になることは差支えない)

③申込時のクラスポイントが38pの場合で所属チーム内で再構成ができない場合(出場人数のみならず、他メンバーの泳力等も含)は、申込時のメンバーから変更がない事を条件に、オープン参加として出場することができる。ただし、棄権した場合含め、参加料の返還は行わない。

13 大会期間中のウォーミングアップについて

(1) 第1日目は、競技・クラス分け・練習用レーンの指定を行う。

練習用レーンに限りがあるので、それぞれ譲り合って安全に利用すること。

また、

第2日目の朝は、クラス別に練習レーンをしている。昼休みは全レーンフリーレーンとする。

(2) 練習に使用できる用具は、メインプールではビート板、プルブイとする。

フィン、シュノーケル、パドル、コード類は使用できない。

(3) 練習時間は次のとおりとする。(別紙、要約版あり)

第1日目(競技、練習、クラス分け)

6月7日(土)13:40~16:45 ※13:30まで入館できません。開始時間を50分早めました。

受付13:30~15:30とし、17:15までに退館してください。(1日目競技者は除く)

※メインプール(水深1.2m~1.3m)の3~4レーンは常時使用できる。

6~7レーンは、クラス分け用とするが、使用していないときは利用してもよい。

1~3レーンは、競技用レーンとするが、14:00~15:20までは以下の内容で設定する。

- ・1レーンは、ダッシュレーン(スタート側からの一方通行。7レーン側から回ってください。)
- ・2レーンは、1日目競技出場者優先レーン
- ・3レーンは、フリーレーン

※上記のレーン制限を踏まえて、クラス別での指定は行いません。また、15:20~はレーンが狭まるため、そこを理解した上で、来場すること。

※15:30~競技を行います。練習する選手およびコーチ等は、「練習」が目的でプールサイドに居ることから、応援や見学(撮影含)等は禁止する。そのような行為が見られた場合は、その選手がコーチングを受けたなどの違反行為としてみなされる場合があるので、競技の妨害がないようにすること。応援等は、2階観覧席から行うこと。

※公式スタート練習は行わない。ダッシュレーンは、上記記載の通り、14:00~15:20までとし、その時間以降は、他選手に支障がない(同レーンの他選手や、競技者、クラス分け対象者すべて含)範囲で監督、選手の自己責任で実施してもよい。

第2日目(競技)

メインプールサイドに入ることができるのは選手、コーチ、タッパー、介助者のみとする。

6月8日(日) 8:40~9:35 および 昼休み

※レーン毎にクラス指定を行う。別紙を参照の上、スタート台に掲示している物も確認を行ったうえで入水すること。

※公式スタート練習 9:10~9:30まで

1~5レーンで実施。6~7レーンはペースレーン。状況によって変更あり。

14 監督者会議について

(1) 監督者会議は行わないので、この二次要項をよく読んでおくこと。

(2) 競技についての質疑がある場合は、リゾリューションデスクへ問い合わせること。

(3) その他、必要な連絡事項が発生した場合は、場内アナウンスおよび公式掲示板にて周知する。

15 クラス分けについて

本大会では、指名された選手に行う。また、指定された時間で行うことにより、対象選手は「13」記載の受付時

間等でなく、クラス分け員から連絡があった時間を優先する。

16 水着・所属表示等について

- (1) 本大会の水着に関する規程は、世界水泳連盟及びWPSの競技規則による。本要項「I 競技規則と競技方法」(4)の許可を得た選手以外は、世界水泳連盟公認の水着を着用すること。
- (2) 水着のチェックは招集所で行う。
- (3) 規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、すべて参考記録扱いとし、記録証の発行は行わない。
- (4) 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。
- (5) 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止する。
- (6) 障がい上の理由で公認マークのついていない加工された水着または公認マーク剥離の水着を着用する場合は、事前にリゾリューションデスクに届け出て、許可を受けなければならない。
- (7) 競技エリアで着用するユニフォーム等の表示は、介助者、スタッフを含め、次のもの以外は認められない。
- ① 自分の氏名、所属の名称やマーク
 - ② 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称やマーク
 - ③ 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや主催者が認めたもの
 - ④ 水着、ウェア等のメーカーロゴ・マーク

※それぞれの大きさと数については、【表】のとおりとする。

【表】

マークの種類/用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
自分の氏名、エントリーした所属の名称、マーク、国旗・国または地域等の名称やマーク、公式・公認競技会のマークや主催者が認めたもの	50 cm ² 以内で1か所	大きさ、数に制限なし	大きさ、数に制限なし
メーカーのロゴ・マーク	メーカーロゴまたはマークは30 cm ² 以内で1か所	メーカーロゴは40 cm ² 以内で1か所。マークは20 cm ² 以内であれば数に制限なし	メーカーロゴは20 cm ² 以内で1か所。マークは20 cm ² 以内であれば数に制限なし

※1 それぞれの大きさ(サイズ)は着用前の面積とする。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求める。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はない。

※2 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つ、ウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ、下部に1つが許される。ただし、これらの商標名は相互に隣接しておくことはできない。

17 トレーナーブースについて

- (1) トレーナーブースを下記の日程と場所で設置する。(場所は予定)

1日目：1F 玄関付近で14:00～競技終了後15分まで ※1日目出場選手のみを対象

2日目：1F ロビー付近で8:50～競技終了後15分までとする。

- (2) 利用希望の方は、以下の点に注意し、利用すること。

・原則事前予約制とする。当日の朝から、トレーナーブースにて予約受付を行う。

- ・ 予約時間は、招集時間等を踏まえ各自の責任で行うこと。
- ・ 1 回の施術時間は 15 分～20 分程度とする。
- ・ 開設時間は、

1 日目：14：00～競技終了後 15 分までとする。※1 日目出場選手のみを対象

2 日目： 8：50～競技終了後 15 分までとする。

※主な目的は障害予防を第一に、身体に関する正しい知識の啓蒙を図ることにあります。さらに、個々の状態に合わせたコンディショニングを提供することで、日常生活や競技におけるパフォーマンス向上のサポートを目的としているため、普段のドライトレニングのチェックも行います。有効にご活用ください。

18 開始式、閉会式について

- (1) 開始式は、6/8（日）9 時 45 分からプールサイドにおいて行う。
- (2) 閉会式は、全競技終了後速やかにプールサイドにおいて行う。

19 その他

- (1) 選手ならびに同行者は 1 階玄関より出入りする。選手の介助者は選手と一緒に入場し、受付けをすること。受付は 1 階プール事務所付近に設置する。
- (2) 車いすの貸し出しは行わない。各自対応すること。また、更衣室やプールに入る際はタイヤの汚れを十分に落として入ること。
- (3) 選手の休憩・待機場所は、下記の通りとする。

第 1 日目 2 階観覧席（飲食可）は 1 日目競技者専用スペースを設ける。練習のみの選手は譲り合って利用すること。

第 2 日目 2 階観覧席はスペースに限りがあるので、県ごとにスペースを割り振りする。県内のチーム等と話し合い、譲り合って利用すること。そのほか、3F 小アリーナとメインアリーナの観覧席が利用できる。飲食利用も可能であるが、ゴミの処理や食べこぼしなどがないように十分注意するここ。
- (4) 主催者より許可を受けた者以外の競技エリア内への入場はできない。
- (5) 更衣は、プール更衣室を利用すること。（異性間更衣室は、身障用更衣室を利用）
- (6) 貴重品等は各自で管理すること。また、貴重品に限らず紛失盗難することもあるため、荷物の管理は気を付けること。紛失盗難などの責任は一切負わない。
- (7) 更衣室の使用はアップ、レース出場時のみとし、荷物を置いたままにしないこと。
- (8) 水温は 29 度前後とする。室温は 25 度～27 度とするが、ドアの開閉等でコンデションが大きく変わるので、各自で対応できるように準備しておくこと。
- (9) 選手には開催期間(前日練習日も含む)を通して 1 枚のアクレディテーションカード(AD カードという)を発行する。会場内では常に首から下げるなどし、紛失しないようにすること。再発行は受付に申請し、手数料は 1 枚 500 円とする。
- (10) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わない。
- (11) 競技の撮影について
 - ①本大会に関する知的財産権(大会写真、動画等)は主催者に帰属する。主催者の許可なく個人的な利用(非営利目的以外)以外での使用は認められない。
 - ②介助者や選手等による撮影場所は、2 階観覧席からとする。撮影機器は携帯用カメラレベル(携帯電話・スマートフォン・レンズ一体型コンパクトデジタルカメラ)とし、フラッシュを利用した撮影等、競技の妨げになるような撮影はしないこと。また、1 眼レフやレンズ交換ができるタイプのカメラ及びビデオカメラ、赤外線フィルター、赤外線装置を使つての撮影は禁止する。
 - ③不審な撮影行為は、係員が事情聴取をする場合がある。内容によっては、所轄警察署に通報する。不審な撮影行為を見かけたら、係員に連絡すること。

- ④個人情報保護・迷惑防止条例等に抵触しないように十分注意をすること。
- ⑤撮影した写真・動画については、ご家庭・チーム内で鑑賞することにとどめ、許可を得ていない自分以外の人
が写りこむ写真や JPSF 協賛企業、大会協賛企業の広告以外の広告物が写りこむ写真のインターネット (SNS 等)
へのアップロードは禁止する。また、動画のアップロードは禁止する。
- ⑥メディアの撮影は事前に申請し許可を得た場合のみとし、当日報道受付でメディアガイドを受け取り、それに
従って行うこと。決められた場所以外での取材・撮影は禁止する。
- (12) 本大会のプログラム記載事項、記録などは主催団体、後援団体のホームページで公開する予定である。
- (13) 事前注文いただいている、プログラム、記念グッズ、弁当引換券 (引き換え場所・殻回収は引換券に記載)
は、受付時に AD カードとともにお渡しします。また、「味の素株式会社」様よりご協賛賜りました飲料もお渡
しいたします。
- (14) ゴミはすべて持ち帰ること。
- (15) 本会場の駐車場は、水俣市総合体育館 1 F 駐車場と、医療センター職員駐車場とする。(別紙参照) 中型
車、大型車は、総合体育館敷地内の他車両の通行の妨げにならない場所に駐車し、受付に所属と車両ナンバ
ーを伝えること。(必要に応じてすぐに移動できるようにご協力をお願いします。) 両日とも、他団体競技や
一般の利用者と共有するので、事故やトラブルがないように利用すること。満車の場合は、近隣の有料駐車
場を利用すること。
- (16) 忘れ物は、選手受付に一時保管する。大会終了後は大会事務局 (大分) で保管するが 2 週間を超えた場合は
処分する。忘れ物等の問合せは直接、選手受付へ申し出ること。大会終了後は大会事務局
(taikai@kyusyuparaswim.com) に連絡し、受け取り方法は、宅配便の着払いとする。